

# 森林・林業の地域おこし協力隊 を募集します



森林（モリ）に触れ、森林（モリ）の  
恩恵を知り、木と緑のある環境で生きる

森林（モリ）のある環境で、自分に何ができるか、  
可能性は未知数です。木と緑のある環境で、  
**自由に自分らしく**  
生き方を見つけてください。

**あなたの自由をモリに活かしてください**

募集  
期間

森林・林業の協力隊は  
**2024.7.31**まで募集します

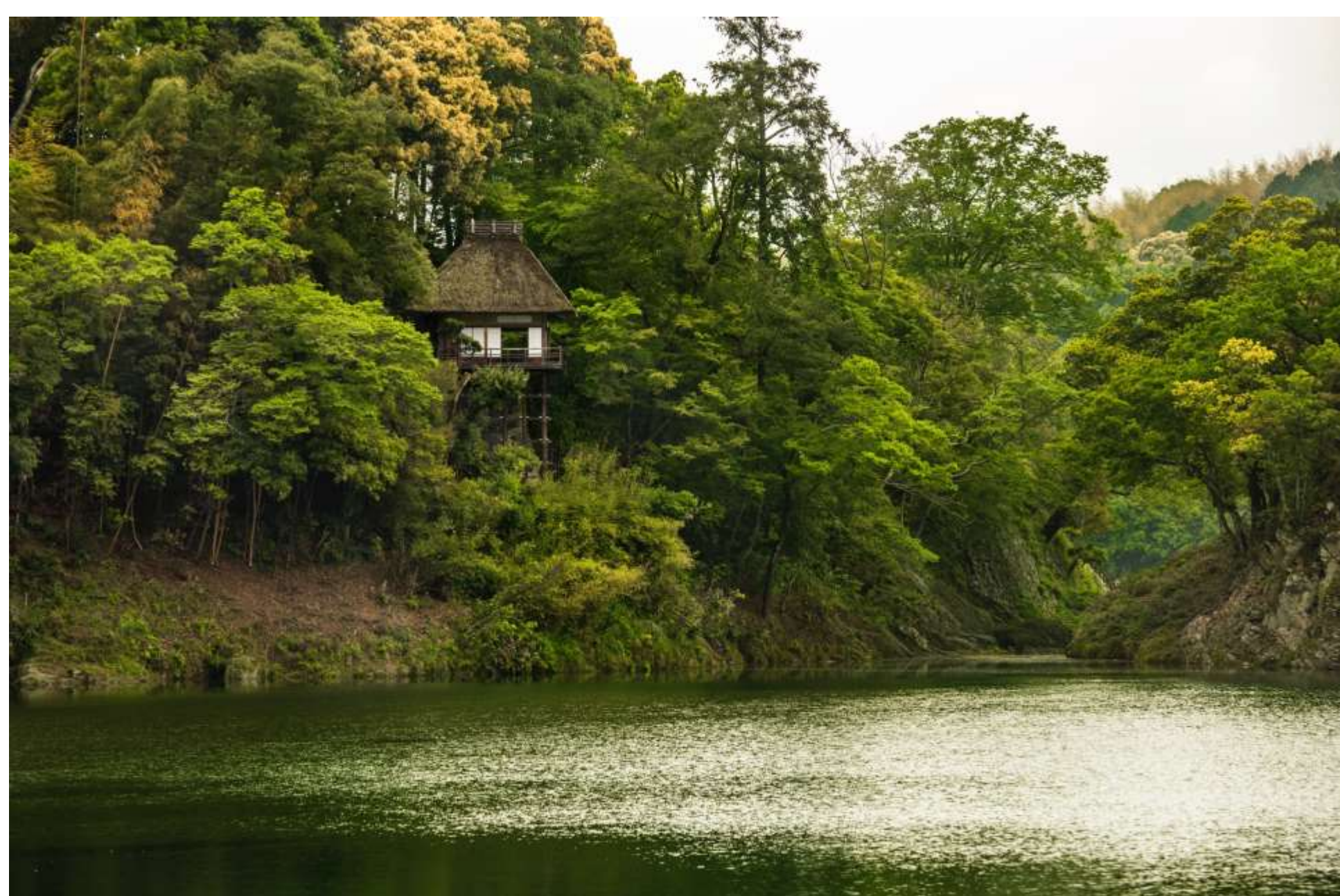
愛媛県大洲市地域おこし協力隊募集概要



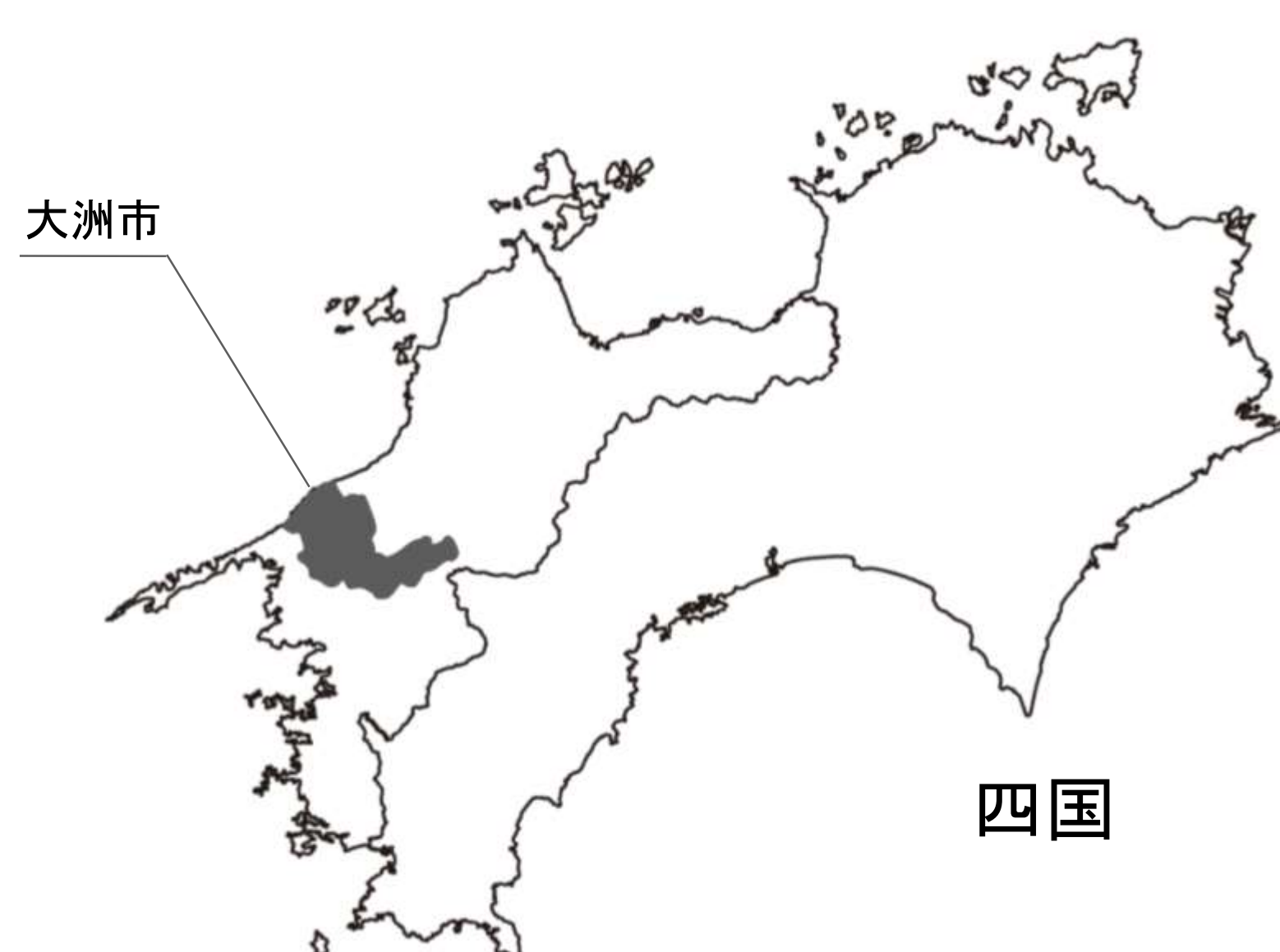


## カワとともに暮らしてきたまち

四国愛媛県の西部に位置し、中心を清流「肱川」が流れます。この肱川の恵みを受け、かつては大洲藩六万石の城下町として栄え、歴史的な建造物や町並みがあり、「伊予の小京都」と呼ばれている人口約4万人のまちです。長い年月をかけて海、山、川や人の営みが織りなしてきた自然豊かな景観や、肱川を活用した「うかい」、「いもたき」などの観光資源を通じ、季節の移ろいや人々の温もりを感じることができます。また、県庁所在地の松山市からは、高速道路を利用して車で約40分の距離にあります。



[※詳しくはこちら](#)







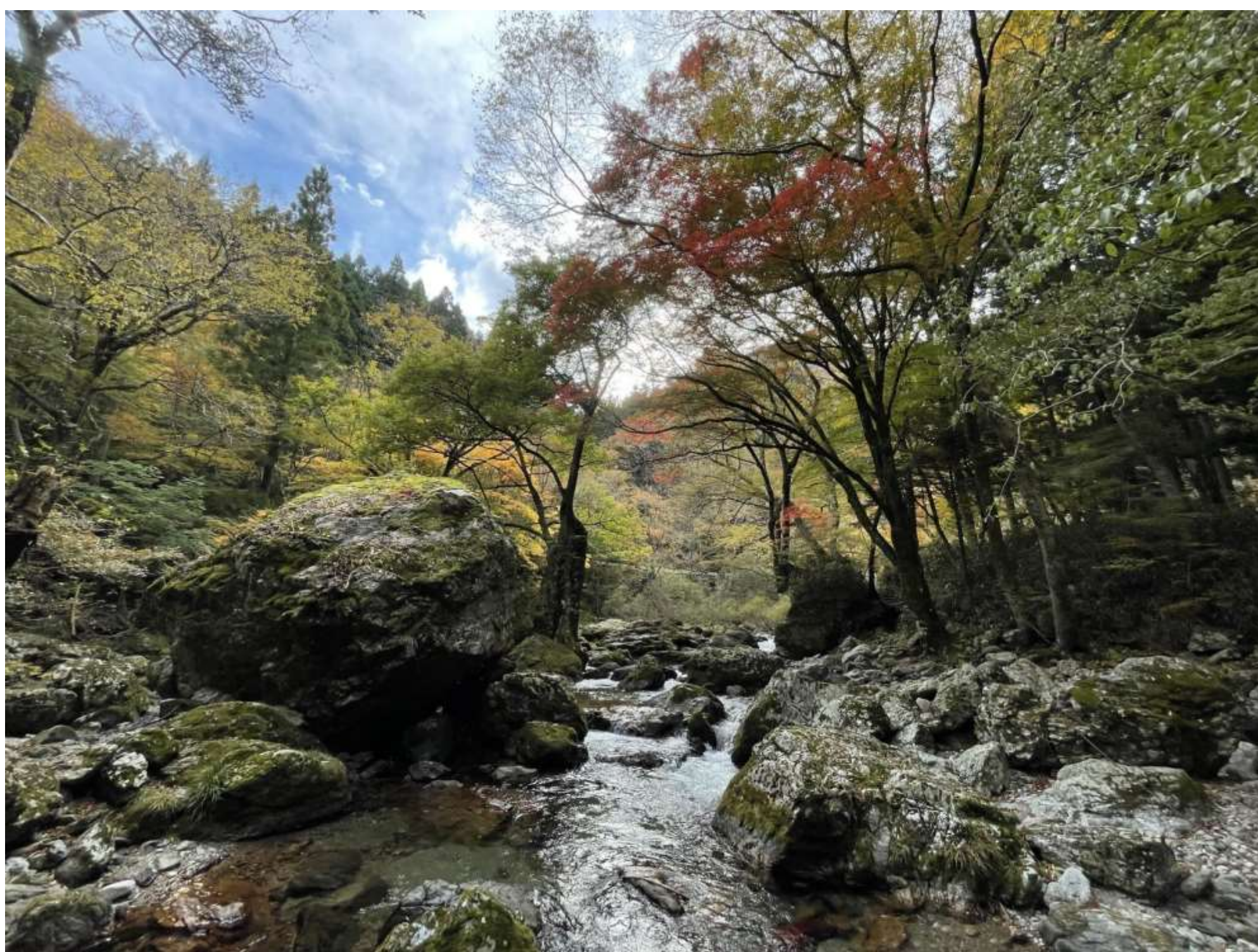
## 1泊100万円 天守閣に泊まれるまち

大洲市には、木造で復元された大洲城天守閣や数寄屋の名建築臥龍山荘、木蠟・製糸業で栄えた時代の築100年を超える古民家群など、地域に根差した歴史・文化を感じられるものが多く残っています。ここ数年では、大洲市地域おこし協力隊（農業）OBも所属する[地域DMO](#)が中心となって城泊（[castlestay](#)）や古民家ホテル・レストラン（[NIPPONIA HOTEL 大洲 城下町](#)）など文化財を活用した新しいチャレンジも進み、令和4年9月にはオランダの国際認証団体グリーンディステイネーションズにより「2022年世界の持続可能な観光地TOP100」に選定、その中の文化・伝統保全部門で世界第1位を獲得しました。

※観光情報は[こちら](#)







## 肱川を潤すモリ、資源の宝庫に触れてみてください

木材をはじめとして、シイタケや炭など多種多様な林産物が生まれ、肱川を利用した海運により大きく一次産業の発展を遂げた大洲市。特に大洲市のシイタケの生産量は全国でも上位に数えられます。

しかし、暴れ川で知られる肱川の治水を左右するのはモリの役目。カワとともに累々と紡いできた大洲の豊かさはモリに回帰します。

四国山地から肱川を通してもたらされる豊富な水と良質な土、盆地と狭窄した河口による寒暖差と霧の発生。温暖な気候に、瀬戸内に面した豊かな漁場。海・川・山を有し、珍しい地形と気象条件により、昔から四季折々の美味しい農林産物と木と緑の環境が作られてきました。大洲の人々は、大いなるモリの恩恵を受けて第一次産業を発展させてきたのです。

[※統計情報はこちら](#)





# モリから生まれる生活や産業をみて、 モリの恩恵を知ってください



日本最古の稼働製蠟機  
(煙管ボイラー)

ハゼ1kg

[※モリの仕事あれこれはこちら](#)

モリから切り出される木材が加工され住まいになります。  
モリで生産されるシイタケが食卓に味わいを届けます。  
モリの様々な樹木が身の回りの環境を作り出します。





木と緑に囲まれて生きるために、まずは地域が抱える課題を知ってください。



お父さんの「腕」に頼っています



若者の「力」が少なすぎます



お母さんの「肩」に寄りかかっています



モリが荒れカワは頻繁に激流に見舞われます

## ■急速な人口減少と高齢化と盆地地形

農林業が盛んな地域ですが、現在も高齢の方々が大洲の産業の主軸であり、その腕と肩に頼っています。しかし昔の様にモリの隅々まで手を入れることがかなわなくなってきました。そうして少しずつモリが荒れ、若者の農林業離れが進み、大洲から若い力が流出しています。

さらに、モリの放置は豪雨災害や野生鳥獣による農林産物被害を引き起こし、このままでは地域経済が衰退してしまう恐れがあります。そのため、時代を上手く取り入れることが出来るしなやかな担い手の確保が喫緊の課題となっています。



[※愛媛の森林・林業についてはこちら](#)





# 私達は自分で考えて行動ができる人材を求めています



■大洲には木材を生産する若い技術者が参入してくれていますが、大洲のモリは広大でまだまだ手は足りていません。

写真は、(株)KLCの現場技術者です。

[※KLCについてはこちら](#)



■大洲には地域の農業に向き合う隊員が活躍していますが、モリに向き合ってくれる隊員がいません。

写真は、農業の地域おこし協力隊員です。

[※先輩の活動についてはこちら](#)



■大洲のモリや林業を考えるOB・OGが沢山います。

写真は、市内の女性林業研究グループの皆さんです。





# 3年間の活動スキーム

1

年目

大洲を知ってください。

- 森林林業に関わることを軸として、市役所を拠点にして農林家、地域住民、事業者等に会ってください。
- 会って話を聞き、モリを肌で感じて少しずつ地域や森林や林業の実情を知ってください。
- 収集した情報を地域の魅力として、新鮮な目線で切り取り、宣伝・広報の業務に活かしてください。
- 研修を受け、林業や地域づくりの知識とノウハウを学ぶ。

2

年目

大洲のモリは大変深いです、ゆっくり足を使ってください。

- 地域住民が行う多くの活動やイベントに参加してください。隊員自身がこの地域に関わりながら、自分らしい生き方を考えましょう。
- 自身が活動をおこしてみましよう。（林業体験・研修など）
- 自分の活動の拠点を徐々に決めていきましょう。
- 地域の活動や会合に参加し、仲間を作っていくましよう。
- 退任後の方針を具体的に検討し、就業あるいは起業の準備を進めましよう。

3

年目

退任後の準備をします。起業なのか、就業なのか、自分に合った生き方をゆっくり探っていきます。

- 退任後の起業・就業、定住地域に関する準備を行います。
- 定住地域の候補地が見つければ、さっそく移り住んで、本格的に地域に入っていきます。
- 6次産業化（生産・加工・販売）やグリーンツーリズムを進めるのであれば、試作品・ツアーの試行、許認可手続きなどを行います。



# 隊員に活動してもらいたい内容①

## 移住者・新規就業者受入支援

大洲市林業就業者支援給付金給付事業等の利用を見据えた就業希望者に対して県・市・森林組合で構成するサポートチームと共に相談対応の補助や情報発信を行います。現時点で相談は年4～5回程度しか寄せられていないので、積極的な広報活動を実施します。

また、当事業を利用している新規就業者の現地確認なども実施します。

→自身が大洲で就業するイメージ・パターンを検討します。

[※支援事業について](#)



## 森林・林業を追求する個人事業主の支援

市内には林業におけるしっかりした技術を持っている方が一定数以上いますが、いわゆる一人親方が多く、自身でSNSを操って広報活動を実践している人もいます。この人たちが業界で孤立することの無いように後方支援を実施します。年間不定期に打ち合わせ会を実施し、常時顔が見える技術者に成長させます。

→若手の木材生産者との交流を深めるとともに、地域の林業の魅力を発掘します。



## 林業の一般研修

就業を希望する場合は、先輩林家や県、森林組合の研修を利用します。具体的に興味・関心があれば、地域へ入って体験・研修を行うことも可能です。地域にまだない技術など、研修を受けて試験的に実践することも可能です。

例えば、

○乾・生シイタケやキクラゲ等のきのこ類、キャンプ用一般炭、茶炭、ハゼ（木蠟）、山椒、シキミ、タケノコなどの生産技術の習得

○森林所有者の意向確認により、森林の樹林改良試験等

→先輩林家の体験談や研修等によって、大洲での具体的な就業の実情を把握します。

[※研修事業について](#)





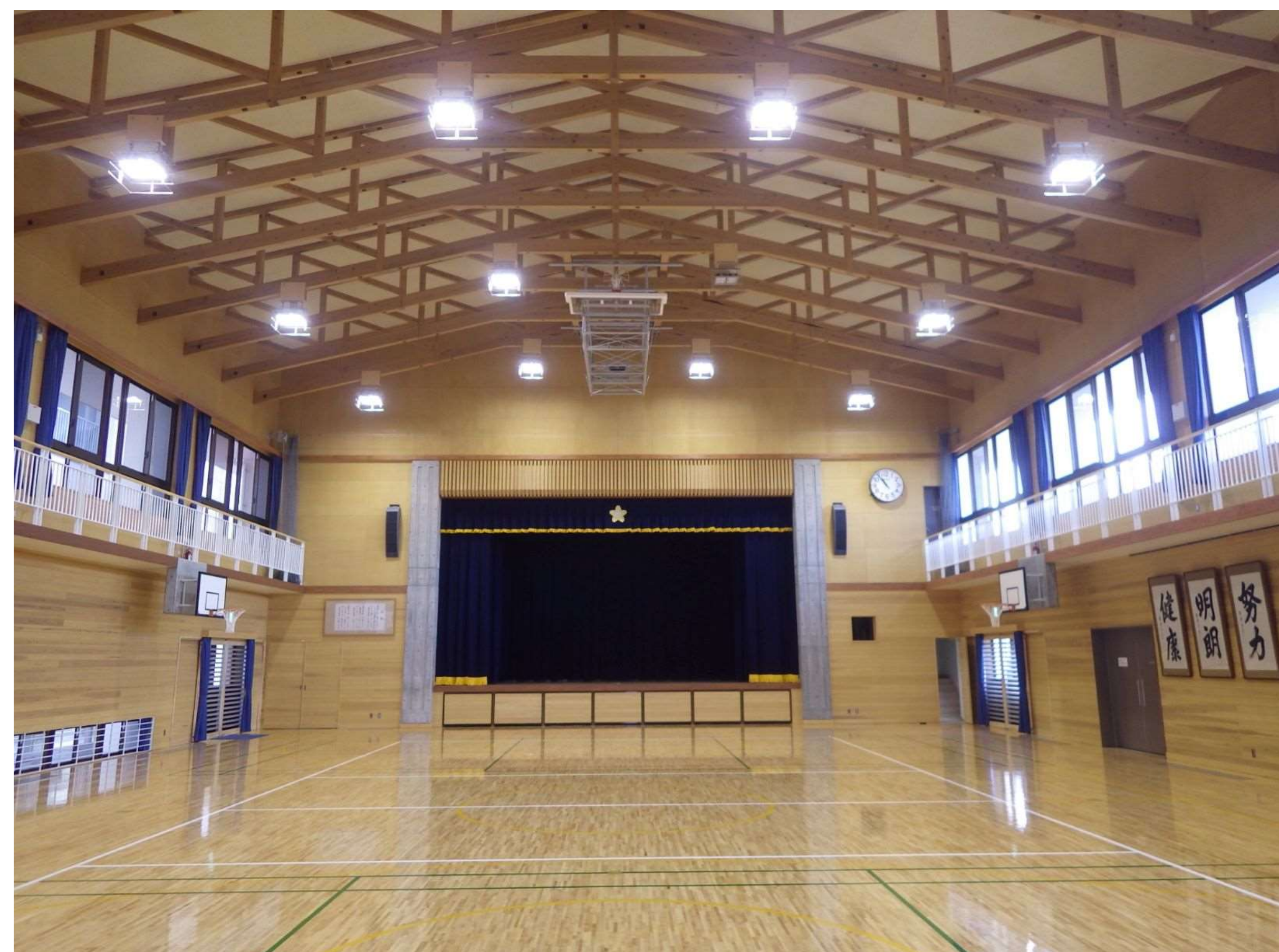
## 隊員に活動してもらいたい内容②

### 森林経営管理事業支援

令和6年度から国税として徴収が開始されている森林環境税を財源とした事業で、個人所有の森林を市が中心となって管理していくことで、放置される森林をなくすことを目的としています。

併せて、この財源に見合う事業を創設することで市民に対して税の有り方を周知することとして、担い手の確保、災害に強い森林づくりなどに積極的に着手するお手伝いをします。

→各地域の森林の状況を把握しつつ、地域の団体や人と会って話を聞いて知り合いを作る。 [※詳しくはこちら](#)

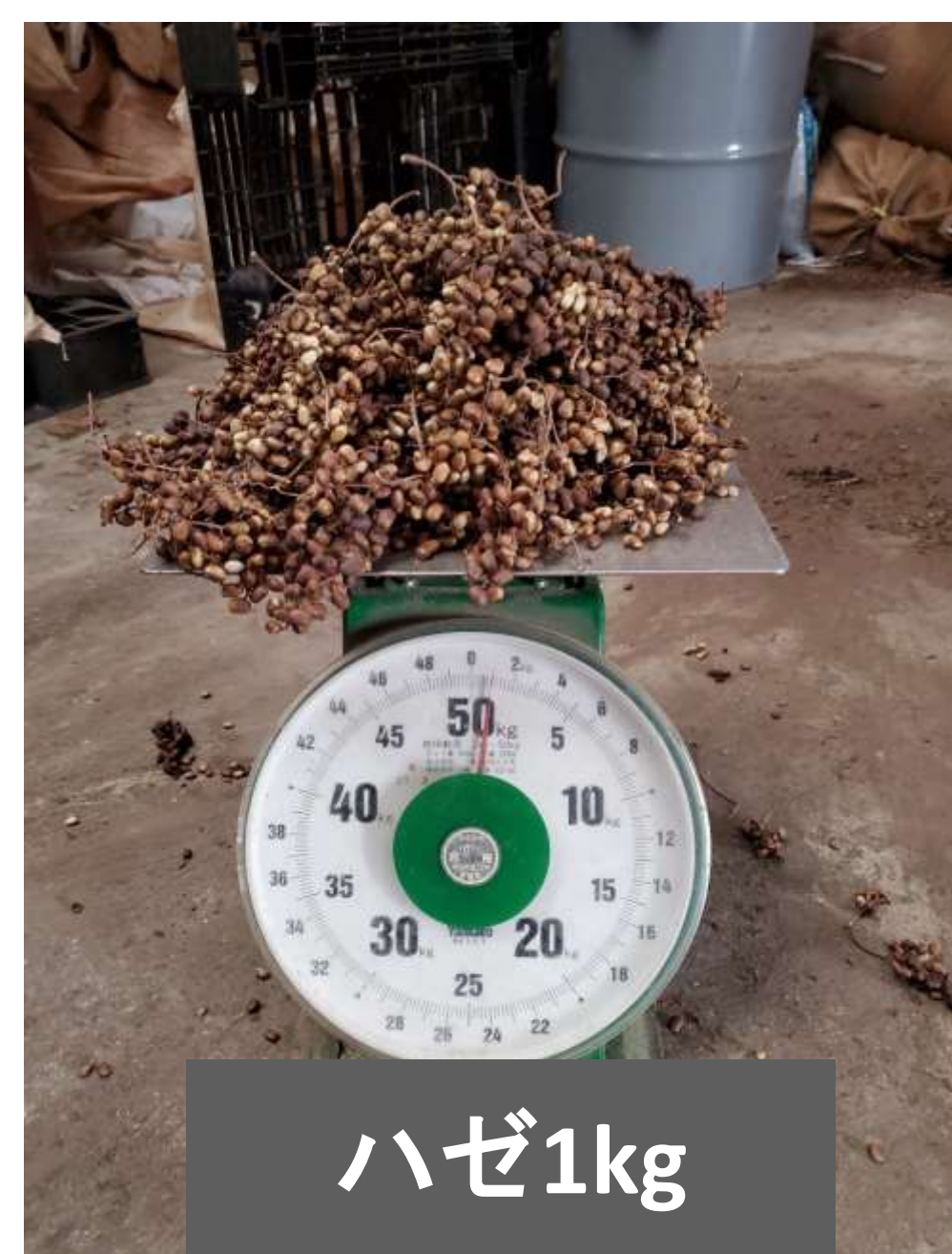


### 6次産業化振興支援

大洲市では、森林から木材を生産し、それを加工して販売に繋げるサプライチェーンが肱川の恩恵を受けて発展してきましたが、昨今の社会様式の変化やグローバル化により多様なニーズに応える供給体制に遅れが生じてきました。生産から販売までを一体的に展開する6次産業化を推進・支援していくため、国・県・市の支援制度の説明や専門家・関係機関の紹介、研修の企画・実施などを行います。また、市補助金に関する相談受付や現地訪問、など支援をします。

→事業者等と会い、6次産業化の実情を把握する。また、補助制度活用のノウハウを会得する。

[※詳しくはこちら](#)



### 高度な技術の研修・先進地視察

国・県が実施する地域づくり、林業技術、6次産業化、GT等の研修に参加します。退任後の具体的な方針が決まれば、視察も企画・実施をすることも可能です。

また、愛媛県は技術的な学びの機会の多さは全国でもトップクラスで、森林・林業の広範な科目を年間とおして受講することができます。各種研修等に10回程度参加します。

→知識や先進事例を学び、同様な活動をしている仲間を増やすことで、活動の幅を広げ、退任後の生業づくりに活かす。 [※研修事業について](#)





# 隊員の活動例

## 地域訪問による空き家調査

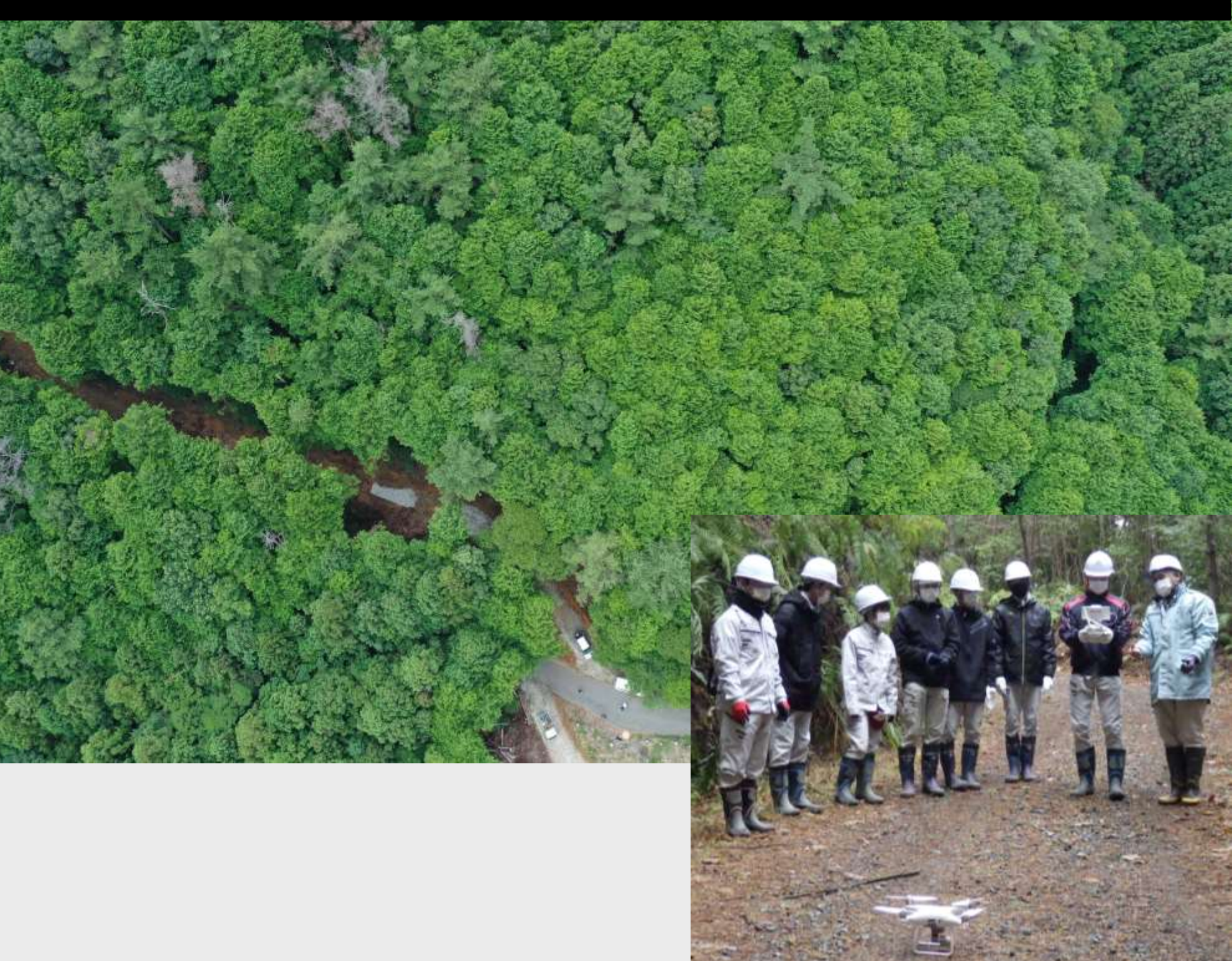
移住・定住地域を選定するために、候補地域の空き家の調査を行います。また活動エリアとなる森林を取得するため、地域の会合や活動に参加し、情報を収集します。

現在、農業枠の2名の協力隊は、就農を目指して柳沢地域を候補地域に絞り、耕作放棄地や道路沿いの草刈りなどに参加しています。より地域のことを知るために、毎週水曜日は柳沢公民館に常駐し、地域や人を知るために活動を行っています。

## 先輩隊員の空き家調査



## ドローンによる森林調査



## 先進技術の導入

林業の現場で伐木、玉伐り、搬出の一般的な木材生産技術を体験します。

植林や下刈り作業を体験し労働強度を感じる経験をします。ドローンによる伐採跡地での新たな植林方法や種まきなどの技術を積極的に習得してください。

また、スギ・ヒノキに限らず地域の気候風土に合った広葉樹を育成させ、森林の樹林改良を進めていくなど、多様なモリづくりと災害に強いモリづくりを森林所有者へ提案してください。

## 従来からの生業を新たに復活

大洲市は県内で最もシイタケの生産量が多い地域です。しかし、高齢化により放置されたクヌギやナラの林が増加し、また大径化が進んでいることから、これを早めに伐採してシイタケのほだ木をつくりホダ場を整備します。

また、一般炭や茶炭の生産、ハゼの栽培による修景作業や木蠟産業の復活など、資源は手に入る環境なので山から搬出してくる手だてを考えたいです。

## クヌギ林に作られたほだ場



## 先輩隊員の起業



## 退任後のための起業・副業開始

高齢者ができない植栽や下刈り、竹林や放置林の整理を専門とする人材の集団「モリビト（仮称）」の起業を考えるのもいいかもしれません。

また、先輩隊員が、これまでの庭師や盆栽士の資格・経験を活かして「THUGIKI」という屋号で起業しました。大洲で自然に生えている植物をメインに手のひらサイズの盆栽などに活用して販売、また隊員はこれまで、マルシェなどに参加して販売を実施していますので、参考にしてください。

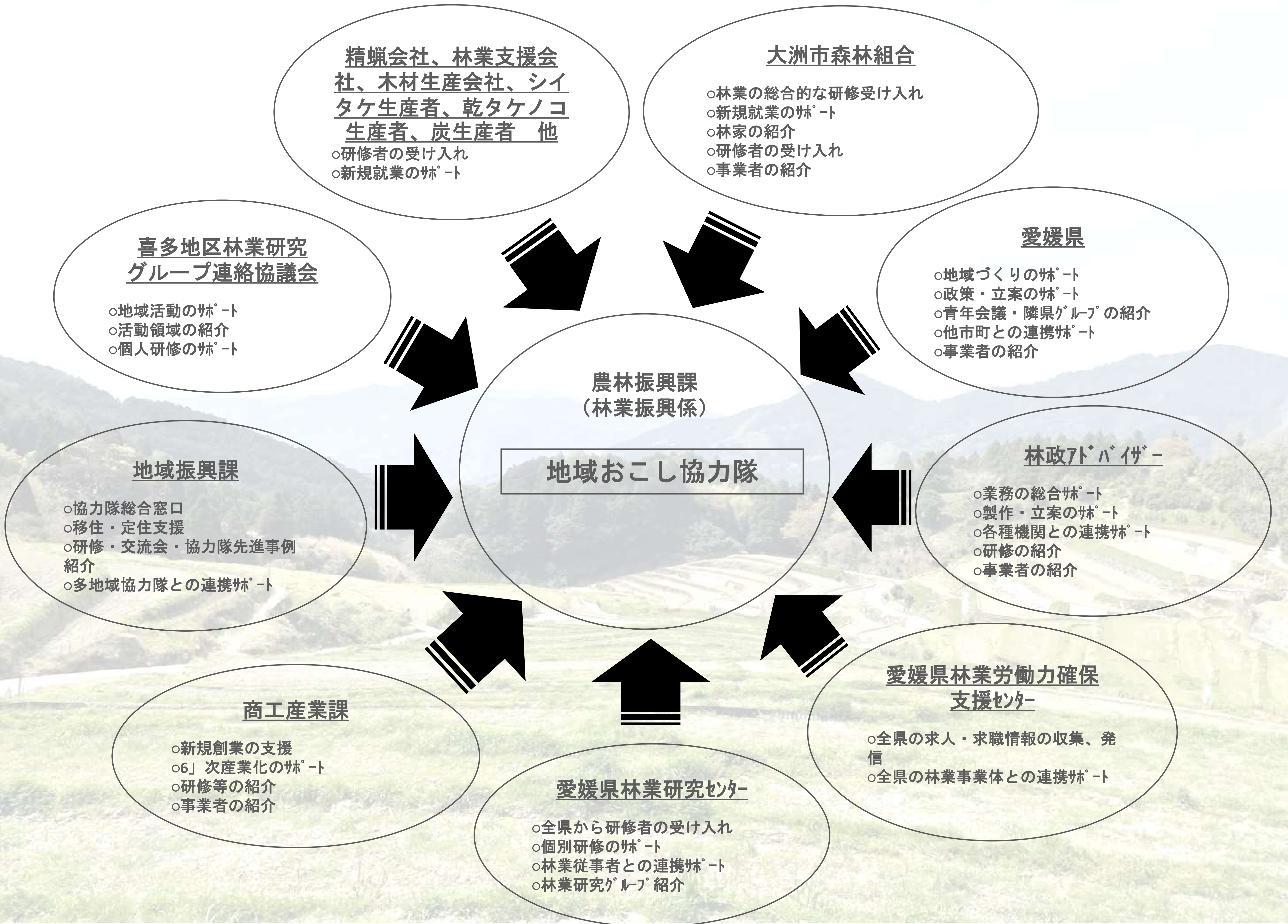
※隊員の活動については[こちら](#)





# 活動サポート体制

モリづくり・地域づくり・起業・就業・定住などについてあなたの人生を精一杯サポートします。



## 先輩隊員

## 受入担当



### ■農業部門1期生 (R3.9-)

中村 光一

[中村隊員の活動内容はこちら](#)



### ■農業部門2期生 (R4.5-)

山本 有華

[山本隊員の活動内容はこちら](#)



大洲市地域おこし協力隊SNS



Instagram



Facebook



大洲市役所農林水産部  
 農林振興課 尾花

■地域おこし協力隊受入担当

森林・林業に関する大洲市の事業全般についてのアドバイザーをしています。活動計画策定や地域訪問を一緒にサポートします。



大洲市役所総合政策部  
 地域振興課 久保

■移住・地域おこし協力隊総合窓口

地域おこし協力隊全般を担当しています。移住定住支援制度も担当していますので、移住に関して全般的にサポートします。ご連絡お待ちしております。



# 退任後のイメージ

大洲市で森林・林業を体験され、林家として森林・林業に従事したり、森林から生産される林産物の新たな販路拡大と人材を活用した林業会社の起業、農林家の生産物加工品の開発、マルシェの主催や民家工房の創業など、大洲市内で農林に関わる生業づくりであれば自由に選択ができます。

## 新規創業・起業する場合

活動の中で、地域の林業や農林漁業者が行う6次産業化、グリーンツーリズムの状況を把握しながら、起業を検討することができます。地域事情の把握や農家林家、木材加工業者などとの交流を行いつつ、森林に残された未利用材のバイオマス利用も含めて社会のニーズに応えるよう付加価値化ビジネスを展開するなど、じっくりと準備をすることができます。

また、林業をしながら林産物の販路拡大や加工業など、複合的な事業も可能です。

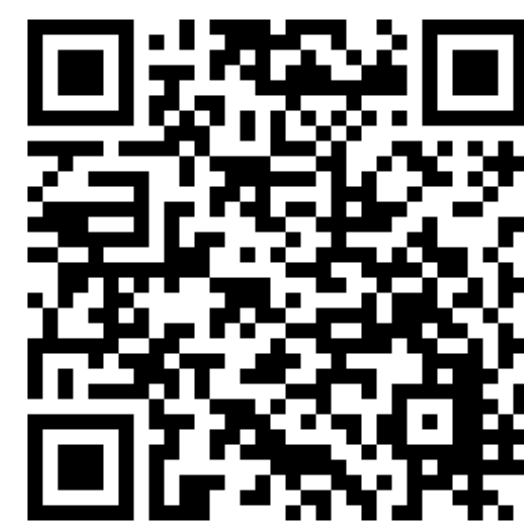


### [例]

大洲市6次産業化等推進補助金を利用し、

- 移住者等を集めて、伐採跡地への植栽や樹林改良、下刈り、放置されたクヌギ林や竹林の管理と整理、森林内へのほだ木の運搬など、高齢がゆえに作業を放棄せざるを得ない林家を対象とした活動を展開する会社を設立する。
- また、地域の林産物（タケ、炭、ハゼ、ほだ木等）を活用・加工した製品を販売する法人を設立して新規創業する。

[※詳しくはこちら](#)



## 新規就業する場合

協力隊の活動を通して、大洲市の林業の状況を把握しながら、山林を取得して自由な森林を育成していくことが出来ます。また、森林から生産される樹木を培地としたキノコ類や薪や茶炭を生産、有用な広葉樹を育成、竹林から生産されるタケあるいはタケノコなど、副業技術を身に着けることです。

また、市内にある木材生産会社や木材加工会社は多くありますので、あえて現場作業に身を置くことも選択肢です。

[※参考はこちら](#)





## 事前の現地訪問など



**応募を決める前に、ぜひ一度、大洲を訪れてください。**

随時事前の現地視察を受け付けています。訪問前に希望を伺い、訪問先（先輩林家、先輩地域おこし協力隊、観光施設、関係機関・団体など）を決定します。

移住を前提とした活動になりますので、ぜひ地域と人を知りながら、応募をお願いします。



オンラインでの事前相談にも対応しています。ご希望の方は問い合わせ先までご連絡ください。また、事前の現地視察をするにあたり、一部市より補助がありますので、以下のリンクを参考にご利用ください。

[※移住希望者支援についてはこちら](#)



## 地域おこし協力隊員・OB

現在、市内で6名の地域おこし協力隊が活動中。うち、3名が農業部門で活動をしています。OBのうち3名が市内に定住。日々の活動をSNS等で情報発信しています。

[※隊員の活動についてはこちら](#)



## 定住支援

住居の取得や家賃への補助など、移住・定住の支援を行っています。退任後の定住にもご利用出来ますのでご参照ください。

[※支援制度一覧はこちら](#)





# 募集要項（抜粋）

募集期間	令和6年7月31日（水）まで ※期間中は応募があり次第、随時選考を行います。定員に達した場合、受付を終了させていただきます。
募集人数	2名
勤務時間	8：30～16：30 / 週平日5日勤務
給与	月額260,000円
雇用形態	大洲市会計年度任用職員（パートタイム）
雇用期間	令和6年9月以降（随時） / 雇用より1年間契約・最長3年間
福利厚生	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 住居は市が借り上げた物件を貸与</li><li>・ 社会保険・公務災害を適用</li><li>・ 活動時に公用車、市PC等の利用が可能</li><li>・ 将来の定住に向けた副業が可能</li></ul>
応募方法	募集期間中に応募用紙等を持参もしくは郵送
選考方法	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 書類による1次選考</li><li>・ 面接による2次選考</li></ul> ※詳しくは大洲市ホームページをご覧ください。

## 問い合わせ先

### 受入担当

大洲市役所農林水産部農林振興課  
担当：尾花  
TEL 0893-24-1727  
MAIL [michihiko.obana@city.ozu.ehime.jp](mailto:michihiko.obana@city.ozu.ehime.jp)

### 協力隊・移住全般

大洲市役所総合政策部課地域振興課  
担当：久保  
TEL 0893-57-9989  
MAIL [keiichi.kubo@city.ozu.ehime.jp](mailto:keiichi.kubo@city.ozu.ehime.jp)